

各 位

2019年11月15日  
SBI Ripple Asia 株式会社  
SBI レミット株式会社

## 日本-ベトナム間で初の分散台帳技術（DLT）を活用した送金サービス開始のお知らせ

SBI Ripple Asia株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：Adam Traidman、以下「SBI Ripple Asia」）及び総合フィンテックソリューション企業であるSBI FinTech Solutions株式会社の子会社で、国際送金サービス事業を手がけるSBIレミット株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：安藤伸生、以下「SBIレミット」）は、ベトナムの商業銀行TienPhong Commercial Joint Stock Bank（本社：ベトナム・ハノイ市、代表者：Nguyen Hung（グエン フン）、以下「TPBank」）との間で、日本-ベトナム間では初となる分散台帳技術（DLT：Distributed Ledger Technology）を活用した実際の通貨での送金ビジネスを開始いたしましたので、お知らせいたします。

SBIレミットはこれまでもMoneyGram International, Inc.（本社：米国テキサス、ニューヨーク証券取引所上場、以下「MoneyGram」）やアジア各地の大手金融機関と提携し、利便性の高い国際送金サービスを提供してまいりましたが、このたび、分散台帳技術（DLT）の世界的リーダー企業であるRipple社の次世代決済基盤（RippleNet）を活用することで、SBIレミットとTPBank間においてはリアルタイムかつ最低水準の手数料での送金が可能となりました。在日ベトナム人の人口は330,835人（2018年12月末現在）と過去5年間で4.57倍（※）に飛躍しており、今後も増加が見込まれています。これら在日ベトナム人のお客様により安全・利便性の高いサービスを提供していきたいと考えています。

SBIグループ代表 北尾吉孝は次のように述べています。

「成長著しいベトナム経済は最も魅力的な市場の1つです。SBIグループが2009年に出資し、現在19.9%のシェアを保有するTPBankは、貸出金を好調に積み上げつつ、先端技術を積極的に取り入れ、決済関連など業績に占める非金利収益も拡大させ、時価総額も急拡大しつつあります。今回のRippleNet導入によって、競合他社とより大きな差別化を図るほか、将来的には暗号資産も組み入れた送金サービスの開発にもつながれると考えています。」

TPBank CEO Nguyen Hungからもコメントが寄せられています。

「SBI Ripple Asiaとの協業によって国際間送金にブロックチェーンを活用することは、かつてないほどに顧客体験を向上させ、TPBankを介した国際送金を速く、便利で、安全なものにする重要な転換点に位置しています。TPBankの株主の1つであるSBIホールディングスは、フィンテック、人工知能、ブロックチェーンに投資するリーディングカンパニーであり、多様な金融サービスの先駆者でもあり、国際送金分野でTPBankに多大なサポートを提供してくれました。安全性と透明性を確保した上で取引は高速に実行され、外国銀行を経由してベトナムに合法的に送金されます。TPBankでは、取引は外国為替管理およびマネーロンダリング防止に関する規制に準拠するように保証されています。」

また、SBI Ripple Asiaでは、RippleNetへの参加を希望する金融機関に対しては、米国Ripple社と連携し、マーケティング支援プログラムの提供や相手先金融機関の紹介を通じて更なる顧客基盤の拡大、強化に努めてまいります。

(※) 法務省：平成 30 年末現在における在留外国人数について  
[http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04\\_00081.html](http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri04_00081.html)

(ご参考)

■ SBI Ripple Asiaについて：<https://ripple.com/sbi-ripple-asia/>

日本を含むアジア地域における分散台帳技術（DLT）を活用した決済基盤の提供に向けて、SBIホールディングスとRipple社（本社：米国サンフランシスコ、CEO：Brad Garlinghouse）が2016年5月に設立した合弁会社。

■ SBIレミットについて：<https://www.remit.co.jp>

送金先国のコルレス銀行との直接契約に加え、世界200の国と地域に約35万の取扱拠点を持つ米国の国際送金サービス大手MoneyGram等の提携先との間で構築したグローバルネットワークを活用し、最短10分程度で安心・安全な国際送金サービスを提供する日本最大級の送金事業者であり、2019年9月末時点で累計送金総額は7,500億円を突破。

■ TPBankについて：<https://tpb.vn/eng/ve-tpbank>

2008年5月に設立されたベトナム商業銀行。SBIグループは2009年8月より出資参画、現時点でシェア19.9%を保有。先端技術を積極的に取り入れ、リテール分野を中心として貸出残高を伸ばしている。2019年9月末時点、時価総額は約894億円。

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI Ripple Asia 株式会社 03-6229-1159

SBI レミット株式会社 03-6229-0792